夕学習　状況設定問題　　1 月 31 日　　組　　番　　氏名

次の文を読み 1〜3 の問いに答えよ。

A さん（26 歳、女性）は看護師である。3 ヶ月前から咳が続いていたが放置していた。1 週間前から全身倦怠感が強まり発熱もみられるようになった。そのころに、4 ヶ月前に A さんの勤務する病棟に糖尿病で入院してきた患者の B さん（70 歳）が肺結核であることが判明した。

1. A さんの胸部 X 線撮影で肺門部に陰影がみられた。A さんに行うべき検査で優先度が高いのはどれか。
   1．気管支内視鏡検査
   2．喀痰抗酸菌塗沫・培養検査
   3．動脈血ガス分析検査
   4．呼吸機能試験

2. 検査の結果、A さんは肺結核であると診断された。また、同じ病棟の同僚看護師 2 名も肺結核であると診断され、患者の B さんが感染源であると確認された。感染経路として考えられるのはどれか。
   1．経口感染
   2．血液感染
   3．飛まつ感染
   4．垂直感染

3. B さんには若いときに肺結核の既往があり、入院時には軽い咳嗽がみられていた。A さんたち看護師への感染を防ぐために、B さんが病棟に入院してきた時に行われるべきであった対策はどれか。
   1．B さんにサージカルマスクを使用させる
   2．病棟職員にツベルクリン反応検査を行う
   3．B さんに BCG 接種を行う
   4．病棟職員の手洗いを徹底する

次の文を読み 4〜6 の問いに答えよ。

A さん（60 歳、男性）は 30 年前に交通事故に遭い、出血多量で輸血を受けた。10 年前に C 型肝炎と診断され、インターフェロン療法を受け、現在も通院治療を続けている。

4. A さんについて正しいのはどれか。

1．肝炎の原因は輸血である

2．今後劇症肝炎を発症しやすい

3．現在の治療で根治が可能である

4．肝硬変の心配はない

5. 血液検査の結果、腫瘍マーカーの上昇が確認され、造影剤を使用しての CT 検査で肝細胞がんと診断された。血液検査で上昇していたと考えられるのはどれか。**2 つ選べ。**

1．AFP

2．hCG

3．PIVKA-Ⅱ

4．PSA

5．CEA

6. A さんは肝動脈閉塞術（TAE）を受けることになった。治療前の血液検査の結果で、施術直後に注意が必要なのはどれか。

1．アルブミン 2.8 g ／ d L

2．AST（GOT）123　IU／L

3．Hb　11g／ d L

4．プロトロンビン活性 53%

次の文を読み 7〜9 の問いに答えよ。

A さん（58 歳、男性）は、20 歳のときから毎日 20 本のたばこを吸っているﾍﾋﾞｰｽﾓｰｶｰである。飲酒も好きで、塩辛いものと一緒に日本酒を毎日２合楽しんでいた。ある日の夕方、サウナから出た直後、気分が悪くなり、右半身の脱力感を感じた。言語障害と歩行障害、意識障害が生じたため、救急車で来院し、ただちにＭＲＩ、脳血管造影が行われ、左中大脳動脈領域の脳梗塞と診断された。

7. 来院時に、意識は清明で、体温 36.4℃、脈拍 84／分、血圧 178／92ｍｍＨｇ、呼吸数 16／分、$SpO_2$98%であった。右顔面麻痺を認め、右上下肢 Barre＜バレー＞徴候と腱反射亢進を認める。病的反射と感覚障害認めない。頭部 CT では明らかな異常を認めない。この時点での A さんのアセスメントとして適切なものはどれか。**2 つ選べ**。

1．右片麻痺がある
2．髄膜刺激症状がみられる
3．脳出血が疑われる
4．緊急開頭減圧術が行われる
5．緊急頭部 MRI 撮影が必要である

8. 発症 4 日目からベッドサイドで理学療法と言語聴覚療法が開始となった。看護師が行う援助として適切なのはどれか。

1．JCS（ジャパン・コーマ・スケール）で 1 桁になってからアイスマッサージを始める。
2．家族に残存機能について説明する
3．つらいことや不安なことは言葉にさせる。
4．訓練は午前中に行う

9. A さんとのコミュニケーション場面での注意で、最も適切なのはどれか

1．筆談にする
2．オープンクエスチョンにする
3．「はい、いいえ」で答えやすい質問も取り入れる
4．うまく答えられない場合、そのつど言い直しをさせる

次の文を読み 10〜12 の問いに答えよ。

A ちゃん（生後 0 日、女児）は、胎児診断で二分脊椎が疑われていた。40 週 0 日、3,000g で出生し、頸在性腰仙部脊髄髄膜瘤と診断された。

10. 出生時に A ちゃんに合併する可能性が高いのはどれか。

1．水頭症
2．髄膜炎
3．四肢麻痺
4．片麻痺

11. A ちゃんは脊髄再建術と脳室－腹腔短絡術（V-P シャント術）を行うことになった。手術前の看護で適切なのはどれか。

1．十分に沐浴をする
2．仰臥位を保つ
3．上下肢の知覚麻痺の観察を行う
4．体重測定を行う

12. 術後の経過は良好で、退院に向けての排泄の指導が A ちゃんの母親に行われることになった。看護師の説明で適切なのはどれか。

1．膀胱留置カテーテルになる
2．便失禁が持続する
3．介助の前後には手洗いを行う
4．陰部はアルコール綿で拭く

次の文を読み 13〜15 の問いに答えよ

A さん（20 歳、初産婦）は、妊娠 30 週 4 日で 1,580g の男児を出産した。1 分後のアプガースコアは 6 点で口鼻腔吸引が行われた。5 分後のアプガースコアは 9 点であった。羊水混濁はなかった。児は NICU に搬送され、保育器に収容されることとなった。

13. 出生直後の児に発症するリスクが最も高いのはどれか

1．低酸素性虚血性脳症
2．未熟児網膜症
3．呼吸窮迫症候群（RDS）
4．胎便吸引症候群（MAS）

14. 出生 3 時間後の児の状態は、体温 36.8℃、心拍数 145／分、呼吸数 65／分である。出産後 24 時間の看護として適切なのはどれか

1．保育器内の温度は 25℃とする
2．酸素濃度を 70%とする
3．母親に抱っこさせる
4．心拍・呼吸の持続モニタリングを行う

15. NICU ではディベロップメンタルケアを中心とした看護が行われている
ケアで適切なのはどれか。

1．四肢を伸ばしたポジショニングとする
2．照明を暗くしておく
3．NICU 内の気圧を低くする
4．母親との接触は最小限にする

次の文を読み問 16〜18 に答えよ。

A さん(38 歳、女性)専業主婦で、夫と小学生 3 年生の娘の 3 人暮らしである。結婚当初から、寝つきが悪いため飲酒を続けていた。子どもが小学校に入学してからは日中も飲酒するようになり、酒量も増えた。夫は帰りが遅く、妻の飲酒を知っていたが、自分も両親も飲酒を毎日楽しんでいたため、とくに問題を感じていなかった。最近、A さんは朝起きられず家事ができなくなり、酔って記憶がなくなったり、近所の住人から苦情が出るようになり、夫に付き添われて精神科外来を受診した。

問題 16. A さんは「幼いころ、母親が酔いつぶれて寝てばかりいて食事も作ってくれないのが嫌でした。いま自分は同じことを娘にしています。最低です」と自己否定の言葉を述べている。看護師のアセスメントで適切なのはどれか。

1. アルコール性精神病による妄想である。
2. コルサコフ症候群による作話である。
3. 自分を被害者にして責任回避している。
4. アダルトチルドレンである可能性が高い。

問題 17. A さんは「こんな自分はいやだけど、お酒を飲むと気分が楽になるので、完全にやめるのは無理かもしれない」と言っている。A さんに対する看護師の助言で適切なのはどれか。

1. 適度な飲酒を心がけるよう勧める。
2. お酒以外に楽しみをみつけるよう勧める。
3. 自助グループへの参加を勧める。
4. 仕事をもつことを勧める。

問題 18. A さんの夫から、「酔っていないときは本当に優しくて良い妻です。娘も心配しています。どのように支えるのがよいでしょう」と相談があった。看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 定時に終わる仕事に転職することを勧める。
2. イネイブラーについて説明する。
3. A さんの行動をすべて肯定するよう指導する。
4. A さんが治療に専念できるよう別居を勧める。

次の文を読み問 19～21 に答えよ。

A さん（30 歳、男性）は小学校の教員である。独身で両親と同居している。新学期になり、新しいクラスを担当して 1 か月経ったころ、突然同期と強烈な息苦しさを感じ、救急車で病院に搬送された。心電図上は異常が認められず、症状もおさまり、一般状態もとくに問題が認められなかったため、その日のうちに自宅に戻った。帰宅後、A さんは「いつも同じように苦しくなるか怖くてたまらない」と電車に乗ることを怖がり、出勤できなくなった。

19　A さんにみられる症状はどれか。

1．微小妄想
2．注察妄想
3．広場妄想
4．観念奔逸

20　A さんは心配する母親に付き添われ、精神科を受診した。その結果、パニック障害と診断され、抗不安薬と抗うつ薬が処方された。
母親に対する説明として適切なのはどれか。

1．「気持ちの問題ですから、心配ありません」
2．「服薬で眠気やふらつきが出ることがあります」
3．「症状がでたときだけ内服させてください」
4．「学校には休職の手続きをしてください」

21　1 週間後、再受診した A さんは「胸が苦しい発作は起こっていませんが、またいつ起こるか不安です。母は最近疲れているようで申し訳ないと思っています。父は黙っていますが、家では居心地が悪くてしかたありません」と暗い表情で訴えた。看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1．医師に薬の増量を相談する。
2．共感的に話を聴く。
3．入院を勧める。
4．散歩を勧める。

次の文を読み問 22～23 に答えよ。

A さん(24 歳、女性)は、結婚して 3 か月である。月経周期 28 日であるが、無月経が 7 週間続いていた。ある日、突然の激しい左下腹部痛を感じたため受診した。体温 36.0℃、脈拍 96/分、血圧 80/50mmHg であった。診察の結果、子宮外妊娠の中絶と診断された。

問題 22. A さんの状態に対するアセスメントで適切なのはどれか。

1. 尿中の hCG が高値である。
2. 子宮内に胎嚢を認める。
3. 左卵管の破裂が考えられる。
4. 子宮内に大量出血がある。

問題 23. A さんに対する入院児の看護として適切なのはどれか。

1. セミファウラー位とした。
2. 便意を訴えたので浣腸をした。
3. ダグラス窩穿刺の準備をした。
4. 子宮収縮抑制薬の準備をした。

次の文を読み問 24 に答えよ。

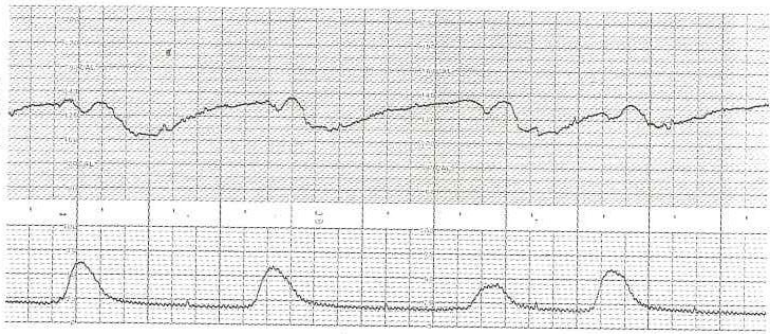
A ちゃん(1 歳、男児)は、3 歳の兄と両親の 4 人暮らしである。4 日前から 38℃台の発熱が続いていた。母親が今朝、頸部の腫脹と前胸部の紅斑に気づき、小児科外来を受診した。体温 39℃。脈拍 148/分、整。両側眼球結膜に充血を認め、両下肢に硬性浮腫を認める。眼瞼下部の写真を示す。右頸部に径 3cm のリンパ節を 1 個触知する。心音と呼吸音とに異常を認めない。血液所見：赤血球 406 万/μL、Hb11.2g/dL、Ht35%、白血球 19,600/μL(桿状核好中球 9%、分葉核好中球 72%、好酸球 2%、単球 4%、リンパ球 13%)、血小板 39 万/μL、総蛋白 6.2g/dL、アルブミン 3.1g/dL、AST40 IU/L、ALT80 IU/L、CRP7.9mg/dL

問題 24. A ちゃんは治療のため入院し、アスピリンの内服とγ-グロブリンの点滴が開始された。A ちゃんの看護で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 兄の症状を確認する。
2. 発熱に対して冷罨法を行う。
3. 離乳食は中断する必要がある。
4. 弾性包帯で下肢を圧迫する。
5. アナフィラキシー様症状に注意する。

次の文を読み問 25 に答えよ。

A さん(28 歳、初産婦)は、妊娠 38 週に陣痛発来で受診し、入院となった。身長 160cm、体重 62kg(非妊時 52kg)。脈拍 80/分、整。血圧 110/80mmHg。子宮底 33cm。胎児推定体重は 2,400g で羊水量は少ない。6 時間後の内診所見は、児頭下降度 Sp±0cm、子宮口開大 4cm で、破水を認める。胎児心拍数陣痛図を示す。



問題 25. A さんの状態に対するアセスメントで適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 児頭圧迫による正常反応である。
2. 吸引分娩か鉗子分娩が行われる。
3. 子宮口全開大まで経過をみてよい。
4. 直ちに帝王切開が行われる必要がある。
5. 最終の飲食時刻を確認する必要がある。

次の文を読み 26～27 の問いに答えよ。

A さん(７０歳、女性)は、夫の死後、他県に住む息子夫婦と同居するために引越しした。引っ越ししてきた当初から、自室のこもりがちであったが、めまいがするといって臥床することが多くなった。心配した息子に付き添われて受診したところ、老年期うつ病と診断された。

問題 26. A さんについて適切なのはどれか。 2 つ選べ。

1. 発症には状況因子がある。
2. 治療は薬物療法が中心である。
3. 感情の落ち込みがなく一見穏やかな表情でも注意が必要である。
4. 自発性の低下により自殺企画は少ない。

問題 27. A さんの息子の嫁が、A さんに対してどのように接したらよいか外来看護師に相談してきた。看護師の対応で適切なのはどれか。

1.A さんを以前暮らしていた家に戻す。
2.積極的に外に連れ出す。
3.本人の負担にならないように自室を訪問する。
4.毎日の日課を決めて守らせる。

次の文を読み 28～30 の問いに答えよ。

A さん(８３歳男性)は、身長１６０cm、体重 50 ㎏、80 歳の妻と 2 人暮らしである。夏に肺炎で入院してから急に体力が低下した。現在要介護 2 と判定されて自宅療養中であり、週に 2 回の通所介護を受けている。A さんは日中のほとんどを、ベッド上で頭部挙上 40 度にてテレビを見て過ごし、排泄は紙おむつを使用している。

問題 28. A さんの仙骨部上方に褥瘡が生じたため、訪問看護が開始された。
褥瘡の要因として考えられるのはどれか。

1.脱水
2.認知症
3.テレビを見る姿勢
4.紙おむつの使用

問題 29. 褥瘡を悪化させないために訪問看護師が指導することとして適切なのはどれか。

1.日中は 90 度側臥位にする
2.エアマットを使用する
3.2 時間ごとの体位変換を厳守する
4.マッサージを行う

問題 30. 2 か月後、仙骨部の状態は軽快した。A さんの妻は熱心に介護している。訪問看護師に「夜間に必ずおむつが汚れます。また、床ずれができるのではと心配で夜に何度も目が覚めてしまいます。」と疲れた様子で話している。訪問看護師は介護支援専門員に報告し、調整することになった。調整する内容として適切なのはどれか。

1.短期入所療養介護の利用を勧める。
2.介護老人福祉施設への入所を勧める
3.夜間対応型訪問介護の利用を勧める。
4.小規模多機能型居宅介護の利用を勧める。